

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野南小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	①各教科において領域別、観点別にみたときに以下の課題がみられた。 ・国語において「話すこと、書くこと」に課題がみられる。 ・算数において「思考・判断・表現」に課題がみられる。 ②学校教育目標「笑顔輝く楽しい学校～みずから学び、なかまと学び、みんなで伸びる～」を達成できる児童を育むため、教員の授業向上を目指し、授業づくりを推進し、主体的・対話的で深い学びを実現する必要がある。
実施する学力向上策 【時期・頻度】	①について ・授業の前後には、授業の意図を伝えて、学習のゴールイメージを共有し学習するの目標を設定する。【毎時間】 ・授業の前後に、目的や内容を共有し、学習の意図を共有する。【毎時間】 ・授業の前後に、目的や内容を共有し、学習の意図を共有する。【毎時間】 ・授業の前後に、目的や内容を共有し、学習の意図を共有する。【毎時間】 ②について ・主体的・対話的で深い学びを実現させるための基礎的な学力を身に付けるため、学力向上カンファレンス学校訪問を要請し、研修を教職員に行う。【2学期】 ・安心して学習に取り組める環境づくりにつながる学習環境の醸成を図る。

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
今年度の成果と 次年度の課題		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業
結果から考えられる 児童生徒の実態		

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業
結果から考えられる 児童生徒の実態		

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業
学力向上策の 見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)